
環境報告書 2010

2010年3月期

[目次]

1. 環境報告書発行にあたり	2頁
2. 会社概要	3頁
3. 環境方針・CSR方針	4頁
4. 環境マネジメントシステム	5頁
5. 環境負荷(マテリアルバランス)	6頁
6. 2009年度 新たな活動	8頁
7. 法順守状況・内部監査・環境会計	9頁
8. 環境目的・目標と実績	10頁
9. 社会貢献活動	11頁

本報告書の対象範囲

対象期間: 2009年4月1日～2010年3月31日

対象組織: 2010年3月時点の全組織(海外および連結子会社を除く)の環境管理活動を対象としています。

環境に関するホームページURL

<http://www.nesic.co.jp/csr/environment.html>

環境報告書発行部門 / お問い合わせ先

NEC ネットエスアイ株式会社 CSR推進部 環境推進グループ

03 - 6699 - 7004

発行責任者 執行役員常務 南 省吾

編集責任者 CSR推進部長 大山 憲一

1. 環境報告書発行にあたり

2010年9月

執行役員常務 南 省吾



2009年度は、鳩山前首相が国連気候変動サミットにおいて、日本の温室効果ガス排出量を2020年までに1990年度対比25%削減を表明するなど、地球温暖化問題が危機感を持って論じられた一年でした。

当社も、この問題に積極的に対応するため、品川本社への低消費電力型蛍光灯導入による、二酸化炭素排出量の前年対比30%削減を実現し、また、業務用車両についても順調にハイブリッド車への転換を拡大する等の施策を展開してまいりました。

さらにNECと共同でオーストラリアにおいて植林を行い、2010年2月には政府の地球温暖化国民運動「チャレンジ25キャンペーン」発足後、いち早く、参加を決定しました。

今年度、当社は省エネ法に基づく「特定事業者」に指定され、省エネに対する取り組みをさらに強化していく責務が生じます。

今後も、地球温暖化問題に対する取り組みとして、自社事業場における省エネ推進はもとより、Empowered Office(オフィス改革)ソリューションや省エネ照明ソリューションなど、当社事業を通したお客様の省エネ化に貢献してまいります。

これからの活動成果は、随時、ホームページ()等でご報告いたします。

当社は「環境との調和」を経営の最重要課題として、日々活動を行っており、これからも事業効率の向上により環境負荷低減をはかってまいります。

本報告書を始めとして多様な情報提供およびコミュニケーション機会を充実させ、誠実で信頼されるネットワークSierを目指してまいります。

今後とも、NEC ネットズエスアイをよろしくお願い申し上げます。

当社CSRホームページ

<http://www.nesic.co.jp/csr/index.html>



2. 会社概要

会社概要

商号 NEC ネットズエスアイ株式会社
 英文商号 NEC Networks&System Integration Corporation
 設立 1953年11月26日
 資本金 131億22百万円(2010年3月末現在)
 本社所在地 東京都文京区後楽2-6-1
 HPアドレス <http://www.nesic.co.jp>

事業内容

ネットワークシステムに関する、企画・コンサルティングや設計・構築などサービスの提供および国内300ヶ所以上の保守サービス拠点による24時間365日対応の保守・運用、監視サービスの提供

国内ネットワーク 2010年9月1日 現在

支社 4 ネットワーク-ータルオペレーションセンター 2
 支店 13 サービスセンター 17
 営業所 37

【沿革】

1953年11月 日本電気工事株式会社 設立
 1980年12月 商号を「日本電気システム建設株式会社」に変更
 1983年12月 東京証券取引所第二部へ株式上場
 1990年 7月 技術研修・研究施設として神奈川県伊勢原市に伊勢原テクニカルセンターを開設
 1992年 9月 東京証券取引所第一部銘柄に指定
 1993年 7月 本社を東京都品川区に移転
 1999年 7月 ISO14001認証を取得
 審査機関:(株)日本環境認証機構
 2005年10月 商号を「NEC ネットズエスアイ株式会社」に変更
 2007年 4月 NECテレネットワーク株式会社を経営統合
 2007年 7月 ISO14001認証範囲を変更し、NECテレネットワーク株式会社のISO認証を統合
 2007年 7月 企業向けトータルオフィスソリューション「EmpoweredOffice」を事業化
 2008年 4月 (株)ニチワ(兵庫県神戸市)を関係会社とする。
 2008年 4月 東京都内に総合オペレーションセンターを開設。
 2008年11月 東京都内に統合デリバリー・オペレーション・センターを開設。
 2010年10月 本社を東京都文京区に移転。

経営関連情報

決算年月	2006年3月	2007年3月	2008年3月	2009年3月	2010年3月
[連結経営指標]					
売上高(百万円)	213,672	254,641	258,212	249,070	217,727
経常利益(百万円)	5,982	7,860	10,423	11,211	10,125
従業員数(名)	4,897	6,407	5,817	5,906	5,998
[単独経営指標]					
売上高(百万円)	191,135	189,498	237,893	225,943	196,620
経常利益(百万円)	5,035	4,736	10,174	10,504	9,447
資本金(百万円)	13,122	13,122	13,122	13,122	13,122
従業員数(名)	2,913	2,920	4,228	4,154	4,282

[報告対象組織] 関係会社を除く当社全組織(海外に関わる事業活動は含まず)
 [報告対象事業所] 本社および首都圏8事業所、4支社、13支店、37営業所
 [対象期間] 2009年4月1日～2010年3月31日
 [報告書発行日] 2010年10月1日 [次回発行予定]2011年10月
 [参考にした環境報告書に関する基準] 環境省・環境報告書ガイドライン
 [作成部署] CSR推進部 環境推進グループ [連絡先] 03-6699-7004
 [報告対象の変化] なし

3. 環境方針・CSR方針

環境方針

基本理念

NEC ネットエスアイは、情報化社会のシステムインテグレーターとして、全社員が「地球にやさしい事業活動」に取り組み、環境と調和する企業を目指し豊かな社会の実現に貢献します。

行動指針

NEC ネットエスアイは、環境との調和を経営の重要課題の一つとして、社員一人ひとりが、以下の環境保全活動を推進します。

- (1) 情報通信システムのコンサルティングから企画、設計、資材調達、ソフト提供、施工、保守運用までをインテグレートする活動、製品およびサービスの全領域において、環境に影響を与えていることを認識したうえで、技術的・経済的に可能な限り環境の向上に努める。
- (2) 環境汚染を未然に防止するとともに、継続的な改善をはかる。
- (3) 環境関連法令、協定およびその他要求事項の遵守、環境に影響を与えるおそれのある活動、製品およびサービスを管理する。
- (4) 環境方針に基づく管理活動を展開するにあたり、年度目的・目標を定め、活動、製品およびサービスの各段階で省資源・省エネルギーの推進、廃棄物の削減などを推進する。かつ、その施策を環境マネジメントプログラムの中で実行し、改善をはかる。
- (5) 環境方針を文書化し、全社員へ周知するとともに、環境マネジメントシステムにより実施し維持する。
- (6) 環境方針は、広く公開するとともに、地域社会に貢献する。

2009年4月1日

代表取締役執行役員社長

山本 正彦

CSR方針

コンプライアンスを最優先し、事業活動を通じて社会の課題解決に取り組み、健全な収益の向上を図り社会へ還元することにより、各ステータスホルダーとの信頼関係を構築します。

当社が取り組んでいる7つのテーマ

当社を取り巻くステークホルダーおよび社会にとって、重要な課題やニーズを明確にし、優先的に取り組む7つのテーマを選定しました。

CSR基盤整備

リスクマネジメントと
コンプライアンスの強化

お客様との信頼関係の構築

地球温暖化への対応と
環境保全

お客様への対応

すべての人が
システムとサービスの恩恵を享受

信頼性の高い
情報通信インフラの構築

セキュリティを多面的に確保

働きやすい職場づくりとグローバルな人材育成

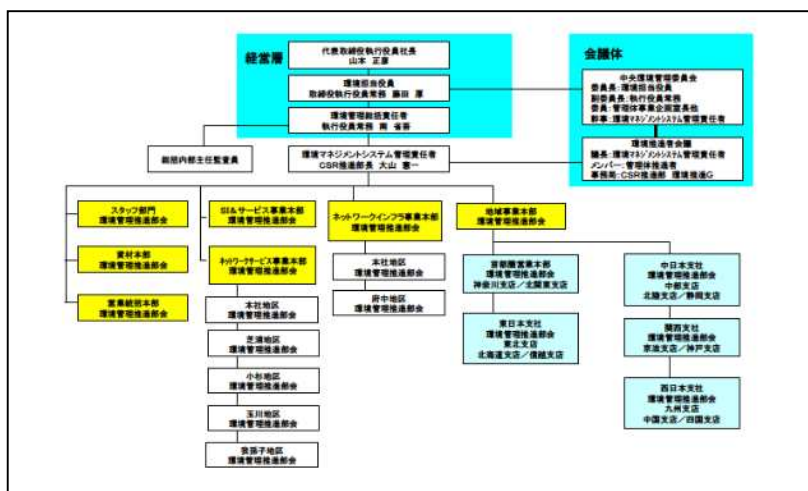
4. 環境マネジメントシステム

運営体制

当社は、環境管理を経営の最重要課題の一つとして、環境管理推進のためのしくみ・体制を強化しています。具体的には、中央環境管理委員会(委員長:環境担当役員)において、全社の環境戦略・方針を審議、決定し、重点課題に対するフォローアップを行っています。また、下部機関としてCSR推進部長(環境マネジメントシステム管理責任者)を議長として環境推進者会議を毎月開催し、環境管理活動を推進しています。

環境管理組織図

2010年4月現在



ISO14001認証状況

当社は、環境マネジメントシステム「ISO14001」を1999年7月28日に認証取得しました。2009年度は、11月9日～11月13日間に更新審査(ISO9001との複合審査)を受審し、「ISO14001:2004規格に基づく環境マネジメントシステムが継続して有効である」と判定されました。

- 1 審査機関 (財)日本品質保証機構(JQA)
- 2 登録日 1999年12月17日
- 3 有効期限 2011年12月16日
- 4 登録証番号 JQA - EM0640
- 5 登録事業者名
NEC ネットズエスアイ株式会社
東京都品川区東品川一丁目39-9

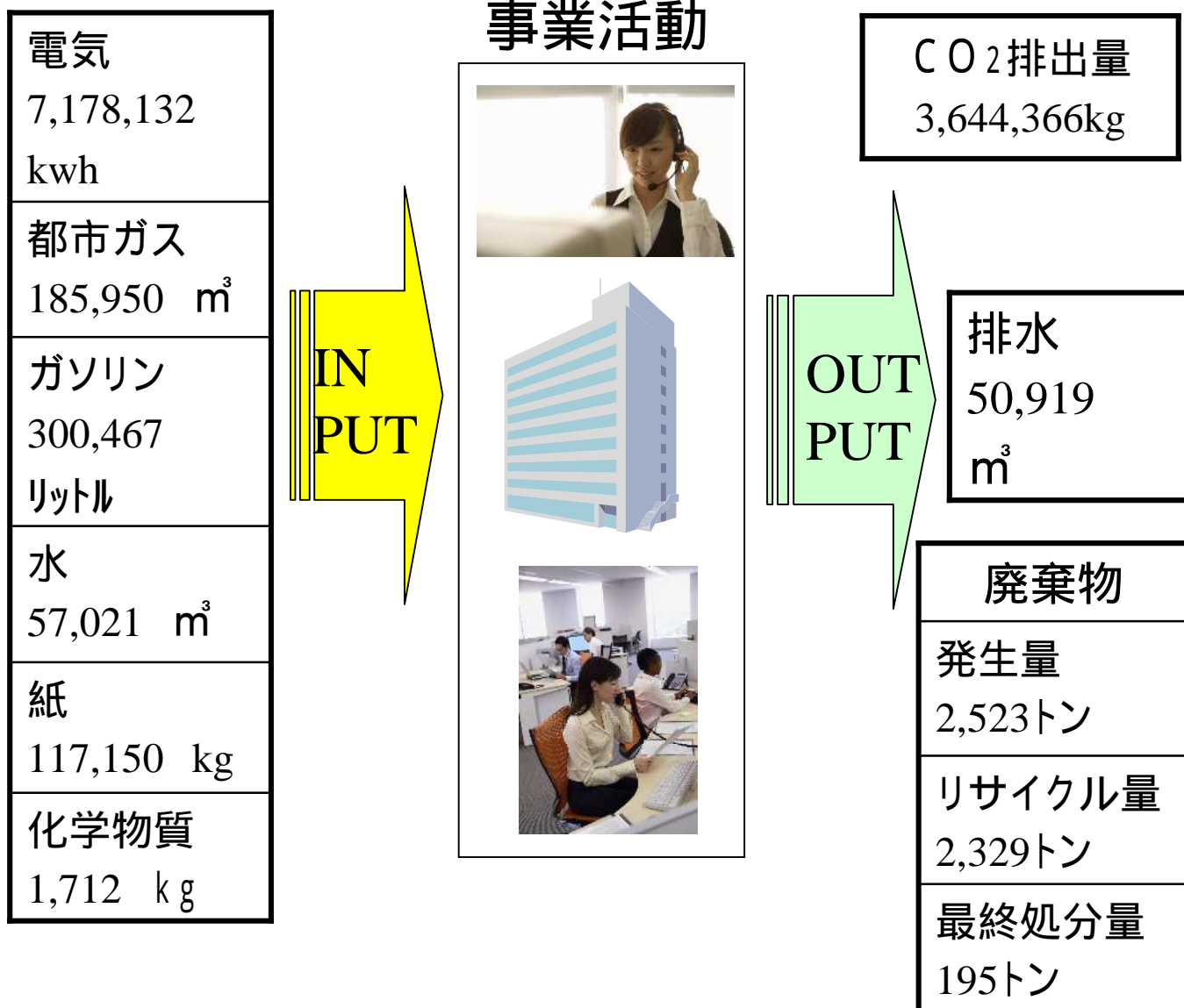


関係会社認証状況

会社名	審査機関
ネットズエスアイ東洋(株)	DNV
トーヨーアルファネット(株)	DNV
(株)ニチワ	JQA

DNV: デット ノルスケ ベリタス エーエス DNVビジネスアシュアランス ジャパン

5. 環境負荷 (マテリアルバランス)



・オフィス内のエネルギー消費については、低消費電力型蛍光灯の導入、IT機器の省エネ化などを実施した結果、二酸化炭素排出量を対前年比161トン(4.2%)削減することが出来ました。

・また、EmpoweredOfficeによるペーパーレス化の推進により、コピー用紙購入量も対前年比12%(16トン)削減しました。

凡 例

INPUT

電気: オフィスで使用した電力消費量
 ガス: オフィス空調で使用した都市ガス消費量
 水: オフィスで使用した上水道消費量
 紙: オフィスで使用したコピー用紙消費量
 化学物質
 鉛はんだ、塗料、接着剤等

OUTPUT

CO₂排出: 電力、都市ガス等エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素発生量
 排水: オフィスからの生活廃水
 廃棄物発生量: 一般廃棄物 + 産業廃棄物の総量
 リサイクル量: 廃棄物を再資源化した総量
 処分量: 廃棄物を焼却処分または埋立処分した総量

[数値データ]

	単位	2007年度	2008年度	2009年度
電気	KWH	6,540,651	7,380,669	7,178,132
都市ガス	km ³	175,513	178,230	185,950
ガソリン	リットル	299,439	277,205	300,467
水	m ³	54,871	53,964	57,021
CO ₂ 排出量(上記合計)	kg	4,061,740	3,805,856	3,644,366
コピー用紙	kg	129,203	132,689	117,150
産業廃棄物発生量	トン	2,609.30	2,711.70	2,331.98
一般廃棄物発生量	トン	173.20	181.77	191.51
産業廃棄物リサイクル量	トン	1,923.08	2,340.13	2,137.10
一般廃棄物リサイクル量	トン	169.07	181.77	191.51
産業廃棄物処分量	トン	686.22	371.57	194.88
一般廃棄物処分量	トン	4.13	0.00	0.00
廃棄物発生量	トン	2,782.50	2,893.47	2,523.49
廃棄物リサイクル量	トン	2,092.15	2,521.90	2,328.61
廃棄物処分量	トン	690.35	371.57	194.88
廃棄物リサイクル率	%	75.2	87.2	92.3

年度別CO₂排出係数推移

		2007年度	2008年度	2009年度
電気	kg-CO ₂	0.453	0.373	0.351
都市ガス	kg-CO ₂	2.190	2.190	2.190
ガソリン	kg-CO ₂	2.320	2.320	2.320
水	kg-CO ₂	0.36	0.36	0.36

電気CO₂排出係数は電気事業連合会資料より参照

6. 2009年度 新たな活動

品川本社照明設備更新

2009年7月～9月、品川本社既存照明設備の一部(3フロア)をHfインバータ安定器、Hi蛍光管に交換致しました。この結果、10月～3月における照明電力使用量は55、983kwh削減されました。これは前年度対比30%削減にあたり、CO2排出量は約20トン削減されました。

NECとNECネットエスアイ、オーストラリア・カンガルー島に1,500本のユーカリの木を植樹



NECおよびNECネットエスアイは、地球温暖化対策の一環として、オーストラリア・カンガルー島に1,500本のユーカリの木を植樹しました。

当社では、オフィス改革ソリューション**EmpoweredOffice**を軸としたオフィスの省エネや、グリーンICTによる環境にやさしいソリューションサービスの提供など、地球温暖化対策の取り組みを推進してまいりました。

その地球温暖化対策のひとつとして、当社では2008年10月初めに**総合SIセンター**を設置し、従来、お客様の現場ごとに行っていたIP電話機の各種データ設定や評価を同センターで集中的に行うようにしました。これにより、現場での作業時間は従来の1/3、消費電力は1/5に削減できました。さらにIP電話機の梱包材についてもダンボール箱の使用を廃止し、繰り返し使用可能なプラスチック製通い箱を導入し、作業の効率化と廃棄物削減を実現しました。

さらに、総合SIセンターから排出される年間27トンのCO2についても、今回植樹した1,500本のユーカリが年間に吸収するCO2に相当することから、同センターからのCO2排出量は事実上ゼロとなります。

本件詳細については以下のホームページをご参照下さい。

<http://www.nesic.co.jp/news/20100216.html>

7. 法順守状況・内部監査・環境会計

法順守状況

「法規制の順守」は経営の最重要事項であり、従来より企業倫理の社内体制の整備や啓発活動を推進してまいりました。

2009年度は、省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)対応として国内事業所全てのエネルギー使用量(空調含む)を集計、2010年度からの定期報告等に備えた、基礎資料を整備致しました。

また、廃棄物管理に関しても、マニフェスト管理および行政報告、廃棄物処理会社現地確認などを計画的に実施致しました。

このような活動の結果、事業所周辺環境に重大な影響を与える事件・事故や環境関連法令違反、行政指導等はありませんでした。

内部監査

2009年度は、2009年6月25日～2010年2月26日の間、10サイトの内部監査を実施し、その結果は以下の通りです。内部監査の結果は、環境管理総括責任者に報告され、マネジメントシステムの改善等を実施致しました。

監査実施サイト数	評価できる点	重大な不適合	軽微な不適合	観察事項	要望事項
10サイト	23件	0件	4件	15件	24件

環境会計

2009年度の集計結果は以下の通りです。(千円)

大分類	中分類	小分類	投資額	費用	経済効果
事業エリア内コスト	地球温暖化防止	地球温暖化防止対策	0	9,462	4,456
	資源有効活用	資源有効活用	0	0	107,733
	資源循環活動	廃棄物処理費用等	0	79,775	0
	リスク対応	遵法対応・化学物質管理	0	657	0
上・下流コスト	環境配慮型製品設計	環境配慮型製品設計	0	300	0
管理活動コスト	管理活動	環境活動に関わる人件費 ISO維持・環境監査費用	0	40,221	0
研究開発コスト	研究開発	研究開発に関わる費用	0	0	0
社会活動コスト	社会活動	社会貢献・情報公開	0	3,280	0
環境損傷対応コスト	その他	その他	0	0	0
合計			0	133,695	112,189

8. 環境目的・目標と実績

2009年度の主な取り組みと成果

達成： 未達成：

	環境目的・目標	2009年度 計画	2009年度 実績	達成 度	前年対比
1	産業廃棄物リサイクル率向上	88%	92%	○	6%向上
2	一般廃棄物リサイクル率向上	100%	100%		100%維持
3	電力購入量削減(MWH) 2008年度実績対比 1%削減	7,308	7,178		97%
4	コピー用紙購入量削減(トン) 2008年度実績対比 30%削減	93	117		88%
[事業を通じた環境改善(エコソリューション)推進]					
5	環境配慮型製品(エコシンボル製品) 販売促進	106台	125台		118%
[意識改革]					
6	NEC環境意識調査() "エコ・イクセレンス層 60%以上"	60%	97%		49%向上
[自動車対策][物流対策]					
7	社有車両にハイブリッド車導入 2012年度目標 対象車両(86台)100%導入	新規導入:8台 累計台数:22台	新規導入:11台 累計台数:25台		79%
8	首都圏仕立て便積み合せ率向上 1台当り配送件数向上により、 物流における環境負荷低減	2.23	1.90		88%

NEC環境意識調査

NECグループでは、環境と調和した持続可能な社会を構築するために、社員ひとり一人の環境意識向上に努めています。その状況を把握する指針の一つとして、年1回、全社員を対象に環境意識調査を実施しており、高環境意識層(エコ・イクセレンス)100%を目指した教育、啓発活動を展開しています。

2010年度の主な取り組み

指標	取り組み
地球温暖化防止	電力使用量削減、社有車両のエコカー導入推進、物流の環境負荷低減省エネ法(定期報告書・中長期計画書作成、届出)
資源循環	一般廃棄物・産業廃棄物のリサイクル率向上
資源有効利用	デジタル複合機による紙情報の電子化、ペーパーレス会議の実施推進
エコソリューション推進	オフィス改革省エネ・ペーパーレスソリューション「Empowered Office」推進 その他照明設備の省エネ、ルーテビASPサービス等推進
環境マネジメント	品質ISOとの複合審査実施
人材育成・意識啓発	環境意識調査実施による高環境意識層の拡大

9. 社会貢献活動

当社は、健全な社会発展のため、良き企業市民として、地域社会を始めとするすべてのステークホルダーに対して「できることから少しずつ」を合言葉に**国際協力**、**災害復旧支援**などの社会貢献活動に取り組んでいます。

収集活動・義援金等による国際貢献

収集している物品	収益金の使用目的	寄贈先
書き損じはがき	「世界寺小屋運動」として開発途上国の人たちの識字教育	社団法人 日本ユネスコ協力連盟
使用済みプリペイドカード	開発途上国での妊産婦の健康保持活動	財団法人 ジョイセフ [家族計画国際協力財団]
使用済み切手	海外への保険医療従事者の派遣活動	社団法人 日本キリスト教海外医療協会の
ペットボトルキャップ	海外の子供達の感染症予防ワクチン接種	社団法人 日本キリスト教海外医療協会の

ハイチ大地震への支援活動

2010年1月12日に発生したハイチ大地震の現地復旧支援として、当社労働組合の協力のもと、社員から義援金を募り、日本赤十字社に寄付しました(2010年2月)。

地域社会との共生

当社は地域社会とのつながりを重視し、様々な活動を展開しております。

活動内容
文房具利用の効率化を推進する小集団活動を行い、効率化された文房具類は社内で活用すると共に、一部を本社(東京都品川区)のある品川区社会福祉協議会に寄贈し、区民の方々や区内社会福祉施設で活用して頂きました(2009年12月)。
当社お取引先より頂戴したタオル類の一部を、品川区社会福祉協議会「ふれあい作業所」に寄贈しました。ふれあい作業所における様々な作業で寄贈されたタオルが活用されています(2010年3月)。

当社の社会貢献活動の詳細は<http://www.nesic.co.jp/csr/contribute.html> でご覧になれます。

NEC ネットエスアイ株式会社

〒112-8560 東京都文京区後楽2-6-1

発行責任者 執行役員常務 南 省吾

編集責任者 CSR推進部長 大山 憲一

発行 2010年10月1日

問合せ先 CSR推進部 環境推進グループ

TEL (03)6699-7004